

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2016年10週 (3月2週 3/7~3/13)

2016年2月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

トピックス

インフルエンザ、ジカウイルス感染症、麻しん・風しん混合ワクチン、肺炎球菌感染症の予防接種、集団かぜの発生
 病原体検出情報
 定点医療機関コメント
 インフルエンザ、感染性胃腸炎、A群溶血性レンサ球菌感染症、流行性耳下腺炎、マイコプラズマ

感染症、ヒトメタニューモウイルス感染症等
 全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(22)、ジカウイルス感染症(1)、レジオネラ症(2)、急性脳炎(6)、侵袭性肺炎球菌感染症(2)、梅毒(2)、風しん(1)

2016年2月報

定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

インフルエンザ(図)【2月3日警報発令】

10週の定点当たり報告数は44.07、9週11,185人 10週8,593人(0.77倍)です。2015/2016シーズンに病原体定点等から寄せられた検体よりA型(AH1pdm09、AH3)及びB型(山形系統、ビクトリア系統)インフルエンザウイルスが検出されています。

【参考ページ】“インフルエンザ警報”を発令します!(2月3日発表)

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/27influ-keihou.html>

集団かぜによる学級閉鎖等の状況(名古屋市)

<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-11-0-0-0-0-0-0-0.html>

保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ_map_new.html

インフルエンザ情報ポータルサイト(愛知県)

<http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/index.html>

<注目すべき感染症>インフルエンザ(感染症発生動向調査週報/国立感染症研究所感染症情報センター)

<http://www0.nih.go.jp/niid/idsc/idwr/IDWR2016/idwr2016-04.pdf>

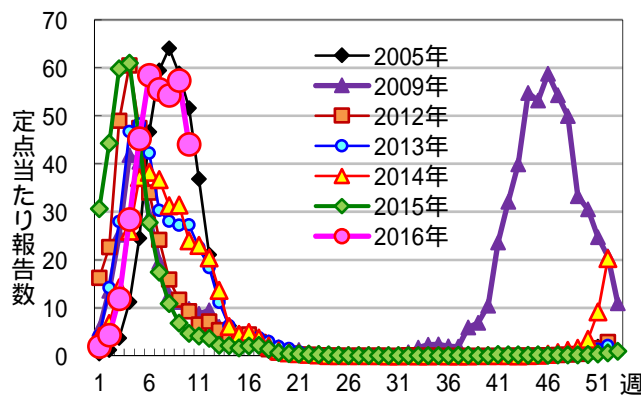


図 インフルエンザ

ジカウイルス感染症について

【参考ページ】ジカウイルス感染症患者の発生について(厚生労働省、3月11日発表)

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000115999.pdf>

蚊媒介感染症の診療ガイドライン(第2版)について(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000115988.pdf>

渡航時におけるジカウイルス感染症への注意について(FORTH) <http://www.forth.go.jp/news/2016/01261317.html>

ジカウイルス感染症の届出基準・届出様式等 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

ジカウイルス感染症(ジカ熱)について(愛知県) <http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/zikavirusinfection.html>

麻しん・風しん混合(MR)ワクチンについて

麻しん・風しん混合(MR)ワクチンの平成27年度の第2期対象者(平成21年4月2日~平成22年4月1日生まれ)は平成28年3月31日までが期限です。すみやかに接種しましょう。

【参考ページ】麻しん・風しんの予防接種は2回受けましょう http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hi_4.html

肺炎球菌感染症(高齢者)の予防接種について

平成26年10月1日から、高齢者を対象とした肺炎球菌ワクチンが定期接種となりました。平成28年3月31日が定期接種の期限となっている方は、平成27年度に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳となる方です。詳しくは参考ページをご覧ください。

【参考ページ】肺炎球菌感染症(高齢者)(厚生労働省)

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/haienkyukin/index_1.html

集団かぜの発生(健康対策課発表)

発表日	管轄保健所	ネットあいち URL
3月10日	一宮、瀬戸、半田、春日井、豊川、津島、江南、新城、衣浦東部	集団かぜの発生について (2015-2016シーズン) http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/syuudankaze2.html http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/ichiran.pdf
3月11日	衣浦東部	
3月14日	一宮、瀬戸、春日井、豊川、津島、西尾、江南、新城、知多、衣浦東部	
3月15日	一宮、瀬戸、半田、春日井、豊川、西尾、知多、清須、衣浦東部	
3月16日	西尾、衣浦東部	

病原体検出情報 2015年疾患別ウイルス検出速報 (2016年3月15日現在)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	*インフルエンザ	**麻疹・風疹
患者数	283	109	50	12	23	38	31	193	15(8)
CV-A6	-	52	4	-	-	-	-	-	-
CV-A10	-	7	26	-	-	-	-	-	-
CV-A16	-	17	-	-	-	-	-	-	-
CV-A9	3	-	-	-	-	3	-	-	(1)
CV-B3	-	-	-	-	-	1	-	-	-
CV-B4	-	1	-	-	-	1	-	-	-
CV-B5	1	-	-	-	-	3	-	-	-
E-11	-	-	-	-	-	1	-	-	-
E-18	2	-	2	-	-	2	-	-	-
HRV	-	-	-	-	-	-	1	-	-
HPeV-1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
HPeV-3	1	-	-	-	-	-	-	-	-
FluAH1pdm	-	-	-	-	-	-	-	-	-
FluAH3	-	-	-	-	-	-	1	132	-
FluB(Vic)	-	-	-	-	-	-	-	4	-
FluB(山形)	-	-	-	-	-	-	-	20	-
HMPV	-	-	-	-	-	-	2	-	1
Reo-2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G2	25	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G3	1	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G9	1	-	-	-	-	-	-	-	-
NV GI	32	-	-	-	-	-	-	-	-
NV GII	116	-	-	-	-	-	-	-	-
SV	9	-	-	-	-	-	-	-	-
AstV	6	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-1	4	3	-	-	-	-	-	-	-
Ad-2	4	-	1	4	-	-	-	-	-
Ad-3	6	-	-	5	1	-	-	1	-
Ad-4	-	-	-	2	1	-	-	-	-
Ad-5	3	-	-	-	-	1	-	-	-
Ad-6	1	1	-	-	-	-	-	-	-
Ad-41	12	-	-	-	-	-	-	-	-
B19V	-	-	2	-	-	-	-	-	2(1)
HSV-1	-	-	-	-	2	-	-	1	-
検査中	-	-	-	-	-	-	-	-	-
陰性	88	32	15	1	19	26	27	36	12(6)

*インフルエンザは2014/2015シーズンの結果

**麻疹・風疹の()内は病原体定点医療機関外からの患者数の別掲

略: ウイルス名(他の略名)

Ad: アデノウイルス、AstV: アストロウイルス、B19V: ヒトパルボウイルスB19、

CV: コクサッキーウイルス(Cox.)、E: エコーウイルス、

FluAH1pdm: インフルエンザウイルスAH1pdm2009、FluAH3: A香港型インフルエンザウイルス、

FluB(Vic): B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)、FluB(山形): 同(山形系統)、

HMPV: ヒトメタニューモウイルス、HPeV: ヒトパレコウイルス、HRV: ヒトライノウイルス、

HSV-1: 単純ヘルペスウイルス1型、NV: ノロウイルス、Reo-2: レオウイルス2型、

Rota A: ロタウイルスA、SV: サボウイルス

病原体検出情報 2016年疾患別ウイルス検出速報 (2016年3月15日現在)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	*インフルエンザ	**麻疹・風疹
患者数	53	1	-	1	1	-	8	127	1(6)
FluAH1pdm	-	-	-	-	-	-	-	28	(1)
FluAH3	-	-	-	-	-	-	-	4	-
FluB(Vic)	-	-	-	-	-	-	-	2	-
FluB(山形)	-	-	-	-	-	-	-	3	-
NV GII	30	-	-	-	-	-	-	-	-
AstV	2	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-3	1	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-5	1	-	-	-	-	-	-	-	-
B19V	-	-	-	-	-	-	-	-	(1)
検査中	21	1	-	1	-	-	6	87	1(3)
陰性	2	-	-	-	1	-	2	3	(1)

*インフルエンザは2015/2016シーズンの結果

**麻疹・風疹の()内は病原体定点医療機関外からの患者数の別掲

略: ウイルス名

Ad: アデノウイルス、AstV: アストロウイルス、B19V: ヒトパルボウイルスB19、

FluAH1pdm: インフルエンザウイルスAH1pdm2009、FluAH3: A香港型インフルエンザウイルス、

FluB(Vic): B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)、FluB(山形): 同(山形系統)、

NV: ノロウイルス

定点医療機関コメント(名古屋市除く)

尾張西部地区

インフルエンザA型 13名、B型 54名、症状から判断 1名

中学生に多くみられました。

【一宮市 あさのこどもクリニック】

インフルエンザ 42名(A型 1名 B型 41名)
生後5か月、7か月乳児 B型(家族内感染)

【一宮市 後藤小児科医院】

インフルエンザA型 4名 B型 30名

【稲沢市 愛知県厚生農業協同組合連合会稲沢厚生病院】

インフルエンザA型、B型共に8名で、先週よりかなり減少

【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】

A群溶連菌5名でした。

インフルエンザはA型7名、B型35名と減少しています。

胃腸炎ではノロウイルスが目立ちます。

【犬山市 武内医院】

インフルエンザ 51名(A型4名 B型47名)

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

インフルエンザA型 28例

インフルエンザB型 40例

水痘続発中

ヒトメタニューモ2例ありました。

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

インフルエンザA 11名

インフルエンザB 39名

【北名古屋市 田中クリニック】

インフルエンザA型 3人

インフルエンザB型 20人

インフルエンザ減って参りました。

【清須市 丹羽医院】

インフルエンザA型 5名

インフルエンザB型 67名

【弥富市 医療法人すずきこどもクリニック】

インフルエンザA型 7名

インフルエンザB型 62名

【あま市 医療法人村上医院】

インフルエンザA型 2名

インフルエンザB型 29名

【津島市 医療法人参育会加藤医院】

尾張東部地区

インフルエンザB型のみ24名(減少傾向です。)

その他伝染性紅斑等

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】

インフルエンザA型 35名 B型 37名

おたふくかぜ 4名

【豊明市 こども元気クリニック】

インフルエンザA型 3例

インフルエンザB型 10例

【長久手市 医療法人水野内科】

インフルエンザB型がほとんどでした。

【日進市 みやがわクリニック】

fluピークをこえました。Bがメインです。

インフルエンザ成人28名(A型3名、B型25名)、
小児34名(A型3名、B型31名)

ムンプスがまだ多いです。

【春日井市 春日井市民病院】

15歳女 カンピロバクター腸炎

A型インフルエンザ 2例

B型インフルエンザ 39例

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

インフルエンザA:Bは1:8となっています。

感染性胃腸炎ではロタウイルスがやや増加してきました。

(ヒトメタニューモウイルス 2例)

【小牧市 志水こどもクリニック】

インフルエンザ 男16名 女8名

【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】

インフルA 3例

インフルB 80例

不明 1例

症状から 2例

【武豊町 なかしまキッズクリニック】

A型インフルエンザ 14名

B型インフルエンザ 65名

インフルエンザ疑い 3名

【南知多町 医療法人大岩医院】

インフルエンザA 5名

インフルエンザB 18名

【半田市 医療法人林医院】

インフルエンザA型 10名 B型 47名

ロタウイルス胃腸炎 1名(5歳)

【東海市 もしもしこどもクリニック】

インフルエンザA型 3名

インフルエンザB型 40名

ロタウイルス2歳女 2名

感染性胃腸炎が増えています。

【大府市 まえはらこどもクリニック】

インフルエンザA型 6名

インフルエンザB型 17名

【東海市 こいで内科医院】

インフルエンザA 10名

インフルエンザB 60名

【知多市 つつじが丘こどもクリニック】

西三河地区

インフルエンザA(+) 7名
インフルエンザB(+) 13名
StrepA(+) 2名
マイコプラズマ肺炎 4歳女 9歳女
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
インフルA型 8名
インフルB型 40名
マイコプラズマ核酸 9歳女
【豊田市 すくすくこどもクリニック】
インフルエンザ陽性A型 8名 B型 18名
【豊田市 愛知県厚生農業協同組合連合会足助病院】
インフルエンザ全てB型
家族内感染、学級内感染と思われるケースが多く認められました。
【岡崎市 村山医院】
インフルA 6人 B 51人
6か月女 病原性大腸菌O6(+)VT(-)
【岡崎市 にいのみ小児科】
インフルエンザA型 24名 B型 95名
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
サルモネラO4群 女9か月
インフルエンザA 9名 B 77名
【岡崎市 花田こどもクリニック】
インフルエンザA型 8名 B型 16名
【岡崎市 医療法人永坂内科医院】
インフルエンザ計35名 A型4名 B型31名
【岡崎市 栗屋医院】
インフルエンザA型 12名 B型 85名
【岡崎市 医療法人志貴こどもクリニック】
インフルエンザB型 52名
【岡崎市 医療法人糸洲医院ともキッズクリニック】

インフルエンザウイルス感染症いったん減少傾向でしたが、また増加してきました。約9割がB型です。

溶連菌感染症も依然多く、ロタウイルス感染症が散見されます。

【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
インフルエンザ引き続き流行(B型が多い)しています。

【碧南市 永井小児クリニック】

インフルエンザA 3名

インフルエンザB 45名

【刈谷市 田和小児科医院】

インフルエンザA 24名

インフルエンザB 98名

【安城市 愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院】

インフルエンザA 1名

インフルエンザB 7名

【安城市 医療法人鳥居医院】

インフルエンザA 23名

インフルエンザB 55名

【知立市 宮谷クリニック】

インフルエンザA型 11名 B型 40名

【西尾市 西尾市民病院】

インフルエンザ 70名(A型12名 B型58名)
減少傾向です。

【西尾市 山岸クリニック】

サルモネラO8 8歳男

カンピロバクター 7歳男

アデノウイルス感染症(疑) 2歳女

【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

インフルエンザA型20名 B型114名 計134名
【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】
インフルエンザB型が流行中です。
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
インフルエンザA型 2名 B型 24名
【豊橋市 おだかの医院】
インフルエンザA型 6名 B型 53名
【豊橋市 医療法人山本内科】
インフルエンザA型9名 B型33名 計42名
【豊橋市 医療法人杉浦内科】

インフルエンザB

1歳男(1名) 3歳男(1名) 4歳男(3名)

5歳男(1名) 6歳男(1名) 7歳男(3名)

8歳男(2名) 10歳男(1名) 11歳男(3名)

12歳男(1名) 14歳男(2名)

3歳女(2名) 5歳女(3名) 6歳女(3名)

7歳女(1名) 8歳女(2名) 10歳女(1名)

【田原市 愛知県厚生農業協同組合連合会渥美病院】

インフルエンザA型 17名 B型 59名

【豊川市 豊川市民病院】

インフルエンザA型 9名 B型 94名

【豊川市 ささき小児科】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2016年3月16日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki jun160215.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2016年10週報告数			2016年総計(1～10週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	15	3	4	131	35	31
豊田市				13	2	5
豊橋市				14	1	5
岡崎市				15	6	3
一宮				29	11	7
瀬戸	1			21	5	2
半田				7	1	2
春日井	3			24	4	5
豊川				4	2	1
津島				9	2	1
西尾	1			8	3	
江南				5	1	
新城				1		
知多				15	2	7
清須	1		1	3	1	1
衣浦東部	1			21	1	2
合計	22	3	5	320	77	72

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

ジカウイルス感染症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	岡崎市	36歳	女	ジカウイルス病	動物・蚊・昆虫等からの感染	ブラジル

レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	名古屋市	71歳	男	肺炎型	国内
2	豊橋市	60歳	男	肺炎型	国内

急性脳炎（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	名古屋市	3歳	男	インフルエンザウイルスA	国内
2	名古屋市	12歳	女	インフルエンザウイルスB	国内
3	半田	83歳	女	インフルエンザウイルスA	国内
4	豊川	5歳	女	ロタウイルス	国内
5	衣浦東部	5歳	男	インフルエンザウイルスB	国内
6	衣浦東部	2歳	男	インフルエンザウイルスA	国内

侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	衣浦東部	61歳	女	無	国内
2	衣浦東部	56歳	女	無	国内

梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	23歳	女	無症候	性的接触	国内
2	江南	29歳	女	早期顕症	性的接触	国内

風しん（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	一宮	33歳	男	不明	国内

2月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況〔()は無症状病原体保有者再掲〕

2015～2016年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数	2016年2月			2016年	2015年
	愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	累計 <愛知県全体>	総計 <愛知県全体>
一類 (7) 発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (7) 結核	83 (19)	53 (16)	136 (35)	265 (62)	1,684 (464)
三類 (5) 細菌性赤痢	1 (1)	0 (0)	1 (1)	2 (1)	6 (1)
腸管出血性大腸菌感染症	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	98 (21)
腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
四類 (44) E型肝炎	0	0	0	0	8
A型肝炎	0	0	0	0	10
コクシジオイデス症	0	0	0	0	1
つつが虫病	0	0	0	0	2
デング熱	1	0	1	3	17
マラリア	0	0	0	0	2
ライム病	0	0	0	0	1
レジオネラ症	2	2	4	8	99
五類 (22) アメーバ赤痢	6	2	8	10	66
ウイルス性肝炎	0	1	1	2	15
内訳	B型	0	1	1	10
	その他	0	0	0	5
カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症	7	1	8	14	80
急性脳炎	2	5	7	8	27
クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	1
クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	4	8
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	1	3	5	16
後天性免疫不全症候群	3	5	8	14	107
内訳	無症候性キャリア	1	5	6	60
	AIDS	1	0	1	43
	その他	1	0	1	4
ジアルジア症	0	0	0	0	4
侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	1	3	5	15
侵襲性髄膜炎菌感染症	0	1	1	1	0
侵襲性肺炎球菌感染症	8	2	10	27	161
水痘(入院例に限る。)	0	0	0	1	17
梅毒	4	3	7	22	122
内訳	無症候	1	1	2	43
	早期顕症	2	2	4	71
	晩期顕症	1	0	1	7
	先天梅毒	0	0	0	0
播種性クリプトコックス症	1	1	2	2	10
破傷風	0	1	1	1	8
風しん	0	0	0	1	13
総計	122	79	201	397	2,600

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2016年2月			2016年 累計		2015年 総計		
		愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体		愛知県全体		
					合計	合計	合計	合計	
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	男	43	44	87	152	244	855	1,501
		女	28	13	41	92	646		
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	7	11	18	36	91	224	601
		女	11	15	26	55	377		
	尖圭コンジローマ	男	6	7	13	29	41	217	328
		女	1	4	5	12	111		
淋菌感染症	男	15	24	39	69	82	489	565	
	女	3	2	5	13	76			
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		68	8	76	152		1,006	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		6	0	6	15		92	
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	0		1	

感染症の類型及び定義(感染症法)

2016年2月15日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症** (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症* (44疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (47疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

* 2016年2月15日に「ジカウイルス感染症」が四類感染症に追加されました。

** 2015年1月21日に「中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)」及び「鳥インフルエンザ(H7N9)」が二類感染症に追加されました。

